

第9回生物学基礎論研究会 プログラム

日時：9月11日～12日

場所：東京農業大学オホーツクキャンパス（北海道網走市八坂196）

教室：11号館201教室（キャンパス内の地図 →
http://www.bioindustry.nodai.ac.jp/map/campus_2011.jpg）

ウェブサイト：<http://foundbio.org/meeting9.html>

問い合わせ：網谷祐一（東京農業大学、yuiami@gmail.com）

一日目（9月11日（金））

午前

9:00-9:05 網谷祐一（東京農業大学オホーツクキャンパス）：はじめに

9:05-10:05 白木彩子（東京農業大学オホーツクキャンパス）基調講演「オジロワシとオオワシの生息現状と保全」（司会：網谷祐一）

10:05-10:15 休憩

一般発表（座長：田中泉吏（慶應義塾大学））

10:15-11:15 吉田善哉（京都大学）「発生生物学における知識の一般化」

11:15-11:45 丸山真一郎（東北大学）「共生オルガネラの単一起源説における最節約原理の役割」

午後

14:30-17:30 シンポジウム “Typological thinking vs. Population thinking”

司会：森元良太（北海道医療大学）

三中信宏（農業環境研究所・東京大学）「移ろいゆく標的と戦場：集団思考と類型思考の対決から半世紀が過ぎて」

鈴木大地（筑波大学）・吉田善哉（京都大学）「相同思考のススメ：『拡張された総合説』の実現に向けて」

千葉将希（東京大学）：「集団思考や類型思考はいかに定式化されるべきか」

懇親会

二日目（9月12日）

午前

9:00-10:00 金岩稔（東京農業大学オホーツクキャンパス）：基調講演「国際水産資源管理に

おける管理方策とその決定過程」(司会：網谷祐一)

一般発表(座長：中島敏幸(愛媛大学))

10:00-10:30 上田雅信(北海道大学)「生物言語学におけるメカニズムの概念について」

10:30-10:45 休憩

10:45-11:15 石田知子(慶應義塾大学)「なぜ我々は遺伝子概念を使い続けるのか」

11:15-11:45 網谷祐一(東京農業大学オホーツクキャンパス)「一般種概念と個別種概念」
(仮題)

午後

一般発表(座長：田中泉吏(慶應義塾大学))

13:45-14:45 松田毅(神戸大学)「ライプニッツの“evolutio”概念について」

14:45-15:15 中尾暁(東京大学)「進化の鍵は雑種形成? —J・P・ロッツィの交雑説とその歴史的意義」

15:15-15:30 休憩

一般発表(座長：森元良太(北海道医療大学))

15:30-16:30 中島敏幸(愛媛大学)「現象学的視点からみる生命システム：情報・モデル・進化をめぐって」

16:30-16:35 休憩

16:35-17:35 大谷剛(兵庫県立大学)「生物の歴史性に関する仮説づくりの試み〜ゲールドの「四原理」使用を手始めに〜」

17:35-17:50 網谷祐一(東京農業大学オホーツクキャンパス)「閉会の挨拶」